

子ども記者が行く!



えにわ子ども新聞では夏休み期間に、さまざまな体験ができる記者研修会を行っています。今年王子製紙苦小牧工場所有「ワッカナイ水源池」の森を訪ね、観察会を行いました。



ワッカナイ水源池はとても重要な水源で、ふだん一般人が立ち入るとはできませんが、9月に王子製紙苦小牧工場創業100周年を迎える記念事業の一環として、今年特別に、探索の機会を得ました。

森の奥には清冽な水の泉があり、たくさんの虫や植物も見られると聞いています。どんなところなのか、みんなわくわくしながら現地に向かいました。森のガイドはネーチャーガイドとして大

人気のゆうふつ原野自然情報センター村井雅之さんにお願ひし、王子製紙の森さん、川口さんのサポートもあって、猛暑の1日を爽やかな自然の中で楽しく過ごしました。



●記者 田口 将 (恵庭小4年)

村井さんは森のことをよく知っていてスゴイ人だと思いました。

クワガタは森の奥より道端の木にいたりというのに驚きました。それは日の当たるところの方が樹液が発酵しておいしくなるからだそうです。

ほかにもカタツムリは顔でなく、殻の近くにある穴で息をしていることも教えてもらいました。手のひらに乗せたカタツムリに水をかけてやると、殻から出てきて元気になりました。僕も昆虫や動物のこと

にもっと詳しくなりたいと思いました。



●記者 田口 海 (恵庭小2年)

村井さんと一緒に森に探検に行きました。ミヤマカラスアゲハやキアゲハが飛んでいました。セミの抜け殻と死んだセミを見つけて持って帰りました。それを木の枝にくっつけて標本を作りました。

王子製紙
ワッカナイ水源池
自然観察会



●記者 奥 美遊 (恵庭小4年)

森でチョウやセミなどのいろいろな虫を見つけました。

水がわき出ている泉もありました。その水はとても冷たかったです。最後にクイズに答えてミヤマカラスアゲハというとてもきれいなチョウをもらいました。暑かったけれど、森の中は涼しくて、とても楽しかったです。



●記者 本保 森魚 (松恵小2年)

水が、しゃつこかった。水のながれがよかった。



▲大きなヘビの抜け殻がお出迎え～!

▼親記者 本保智美 川沿いを歩いて水源池まで向かいました。暑い日でしたが、川の近くは川の水のおかげで涼しく

気持良かったです。



▲食べちゃダメ! 「毒があるから実が残っているんです」

また、透き通った水の中にきれいな川にしか生えないバイカモがゆらゆら揺れてきれいでした

水の湧き出ている所の近くに真っ赤でおもしろい小さな木の実が。村井先生より「ナニワズは毒です(食べられません)」とのこと。途中で、レッドデータ

ブックに載っている希少種「アカエゾゼミ」の死骸がありました。

ふだんは入る事のできない場所なので、人の手が入らず自然がたくさん残っていました。

湧き水を飲む日本は幸せな国だと思います。空から降った雨が時間をかけて土に染み込み、湧き水となって地上に出ています。この先も、おいしい水を飲むように、水を川を海を汚さない生活をしたと思います。



●記者 三上 佳泰 (柏小4年)

ワッカナイ水源池に行くまで、クワガタがいっぱいなのと聞いていました。捕まったら、うちに友達からもらったメスがいたので、オスがいたら卵を産むかもしれないからです。

ガイドの村井さんに「今日は何をしに来たのでしょうか?」ときかれてクワガタの事を言ったら、あとから「自然を観察に来ました」と言いなおしたら「おつ、急に変わったな」と言われて、

ちよつと困りました。チョウを捕まえて、触る時に胸をつまむのが、潰しそうで怖かったです。カラスアゲハを捕まえたかったです。

奥に進んで、わき水の所でくんだ水はすごく冷たくてすぐ飲みきってしまいました。蝉の抜け殻や死んでいる蝉をもってかえりました。蝉は標本にしました。

すごく楽しかったです。また行きたいです。



▲うわあ、デカ～いカタツムリ!



●記者 三上 佳珠 (柏小4年)

王子の森に行ってきた。この森は普通の人には入れないので、子ども新聞の体験で入れてラッキーと思いました。ガイドの村井さんは虫の事や木の事をいっぱい知っていて、びっくりしました。

本当は虫などはそんなに好きじゃないので、お母さんがカタツムリを手のひらに乗せているのを見て、「うわーっ!」とおもいました。

でも森の奥に入るとたくさんチョウが飛んでいるのや、水が流れているところをみてきれいなあとと思いました。ミナルウオーターの元になっているわき水のところで水をくんでもらいました。とても透き通っていて、飲んでみると森の味がしました。お弁当もおいしかったです。とても楽しい一日でした。

くら虫よけをしていたとはいえ、あれだけの森で蚊やブヨに全く刺されなかったことです。蚊に刺されるといやだなと思っていたのですが、そんなことを気にする事もなく、楽しく散策できたりしました。

今まで見たことがないほど大きなカタツムリやいろいろな自然のものを



▲猛暑の日。チョウも村井さんの手で作った日陰でひと息ついています



●記者 三上 泰実 (恵庭中1年)

6日はとても暑かったのに王子の森の中は涼しくて、気持ちよかったです。びっくりしたのは、い



▲ダメージを与えないようにと、チョウの扱いかたも習います

7ページにつづく